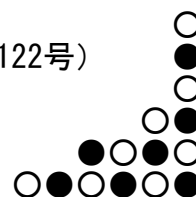


げんけん マンスリーレポート No. 2023-7 (第122号)

発信元：東京都市大学 原子力研究所
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
発信日：2023/7/7



こんにちは。原子力研究所です。

今回は、6月8日に開催した原研3研究室合同ゼミについて紹介します。原研には、原子力燃料・物質工学研究室(佐藤勇 教授)、放射線応用工学研究室(松浦治明 准教授)、加速器工学研究室(羽倉尚人 准教授)の3つの研究室があります。3名とも原子力安全工学科との兼務であるため、世田谷キャンパスにも研究室を構えていますが、施設管理等の業務を行うために原研と世田谷を行き来しており、実験機材等は概ね原研にあるため、主な研究の場としては原研となっており、学生・院生も基本的には王禅寺にきています。

この3研究室は、共同研究も積極的に行っており、日ごろから研究交流を盛んにしています。年に数回、3研究室合同での研究発表会を行い、お互いの研究についてより理解を深めることとしています。こうした機会を通じて交流を深めることで、各研究室の装置を利用しあったり、研究について学生同士でのやり取りを深めたりすることができるようになっていきます。

このような関係を作っていくことは、施設を安全に運用する上でも重要なことであるとの共通理解もあり、非常に良い関係を築くことができます。

【原研の研究室紹介のページ】<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/lab/>

★トピックス

- ・2023年7月22日(土)に第9回王禅寺オープン・ラボを開催します。
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/1870/>
【事前参加申込Form】<https://forms.gle/SCiZnfViZghewLv3A>

★利用実績(6月)

- ・放射線業務従事等登録数；業務従事者：69名、指定従事者：53名
- ・一時立入者数(のべ人数)：45名

★主なスケジュール

6月(実績)

- 8日(木) 原研3研究室合同ゼミ@世田谷キャンパス
- 9日(金) 原子力規制庁 日常検査
- 10日(土) 原子力安全工学科有志学生による見学会
- 13日(火) 原子力安全工学科3年生対象 原子力実験実習
- 19日(月) 所内・管理室会議、保安訓練
原子力規制庁 日常検査
- 20日(火) 原子力安全工学科3年生対象 原子力実験実習
- 23日(金) 原子力規制庁 日常検査
- 24日(土) 大学院・共同原子力専攻 中間発表会@西早稲田
- 26日(月) 合同巡視
- 28日(水) 東工大・林崎教授と学生さんによる見学会
- 29日(木) 東海大タンDEM実習 事前説明@オンライン

7月(予定)

- 1日(土) 東海大学大学院生対象 都市大タンDEM実習と研究交流会
- 8日(土) 大学院・共同原子力専攻 「原子炉実習」の事前教育

22日(土) 第9回王禅寺オープン・ラボ

原子力人材入試のためのセミナー&施設見学会

27日(木) 立教大・原子力研究所との意見交換会

※月に1度程度、原子力規制庁(NRA)の日常検査(フリーアクセス)の実施

◆書式類のページ

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/format/>

◆外部との共同研究/受託研究

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/history/external/>

◆原研のスタッフ紹介

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/staff/>

◆マンスリーレポートのバックナンバー

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/category/report/>

【管理室から】

6月19日に行った保安訓練について紹介します。年に一度、消防訓練、非常事態体制の訓練と合わせて保安訓練を行っています。原子炉施設、放射線施設、核燃料使用施設という施設を有しているため、大きな地震や火災などが発生した際にどのように行動しなければならないかを教職員を中心としつつ、在所する学生・院生も理解しておく必要があります。例年、シナリオに沿った訓練と通報訓練、消火訓練などを行っています。特に、訓練終了後に、参加した全員が一堂に会して、反省会を行っています。それぞれの役割で問題点がなかったか、初めて訓練に参加した学生から何か気づき事項はないか、といったことをざっくばらんに意見交換します。非常に小規模な研究所のため、教職員や守衛さんの数が限られています。災害発生時に学生も含め一人ひとりが適切に行動できることがより強く求められます。そうした意味で、日ごろから原研のことをよく理解し、分からないことは、教職員に確認できる雰囲気を作っておくことが重要だと考えています。今回は、原子力規制庁の方も訓練の様子を見学されました。学生と教職員が一体となって施設の維持管理を真剣に検討していることを見て頂くことができましたと考えています。

◇問合せ先

本配信内容についてのお問合せは、以下にお願いいたします。

原子力研究所 羽倉 nhagura[a]tcu.ac.jp

～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆

東京都市大学 原子力研究所 <https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地

TEL 044-966-6131

FAX 044-955-6071

★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★